



亀中だより

No.7 令和5年5月12日 文責 岡田



For The Students!



ヤマメとサクラマス

下の2枚の写真をご覧ください。左は「ヤマメ」右が「サクラマス」という魚です。ヤマメはその美しい魚体から“溪流の女王”とも呼ばれているそうです。一方のサクラマスは、マス寿司の材料として親しまれているサケ目サケ科の魚です。ヤマメは体長30cmともなると「尺ヤマメ」といわれ、溪流釣りをする人の間ではあこがれられる存在だそうです。



一方、サクラマスの体長は大型のものでは60cmを超え、体に見られる模様もヤマメとは全く異なります。大きさも模様も違うヤマメとサクラマスですが、なんと、もともとは同じ魚なのだそうです。サクラマスは川でエサを獲るのが苦手だったため、エサを求めて川を下り、海に向かったヤマメが、海の危険な環境も乗り越えて、豊富なエサを得て成長した姿だというわけです。

斎藤茂太さんの言葉より…

大きくても30センチほどのヤマメと、その倍もあるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存じですか？ 川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。

そのときは負けたように思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと心がける。そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにグーンと大きくなっているはずですよ。

このことをもとに、医師で随筆家の斎藤茂太さんが語ったとされるのが、左の言葉です。

人間の社会では、生存競争ということで片づけることなく、さらなる工夫で共存の方法を考えていくことも必要だとは思いますが、サクラマスのように人と競うだけでなく、努力を重ねながら、自らのフィールドを広げていくことも魅力的に感じます。

私が子どものころは、日本人がメジャーリーグで活躍することなんて、とても現実的ではありませんでした。それが、今では多くの野球選手が、そこを目指し、さらに大活躍をしています。

一方でチャレンジの途中で苦勞をしている選手もいます。しかしながら、社会やマスコミが何と言おうが、それもまだ途中の話です。斎藤さんの言う「自分で自分の人生に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません」の言葉の通りだと考え、応援したいものです。

最後に斎藤さんの名言をもう一つ…

「人生に失敗がないと、人生を失敗する」